



中央図書館だより

本 どう？

Hon do?

NO.107

(令和5年2月16日発行)

特集コーナー紹介



◆ひなまつり (1A)



◆花粉症 (いろはにホットスペース)

- ◆ 春の絵本 (1A) も展示中
- ◆ 2023年本屋大賞ノミネート作家作品 (特設5)
- ◆ 第168回芥川賞・直木賞受賞者・候補者 (特設5)
- ◆ その他

コラボ特設コーナー紹介

- 市役所など各課との新規コラボコーナー
- ◆ 睡眠負債 あなたの睡眠は大丈夫ですか (健康増進課) (特設1)
 - ◆ 天草市男女共同参画週間 (男女共同参画課) (特設2)
 - ◆ フレイル予防で健康長寿 (高齢者支援課) (特設3)
 - ◆ ノサリバ vol.18 新しい経済と社会 ~経済の多様化と関係性のリデザイン~ (政策企画課) (特設4)

■新着本紹介■

新刊の一部をご紹介します

一般書



『家康と信康』 岳真也 (河出書房新社)



『成熟スイッチ』 林真理子 (講談社)



『大人だって、泣いたらいいよ』 紫原 明子 (朝日出版社)

- 『終わらない水俣病』 北岡秀郎 (花伝社)
- 『パクン式お金の育て方』 パトリック・ハーラン (朝日新聞出版)
- 『最高の睡眠は腸活で手に入る』 辨野義己 (扶桑社)
- 『自分サイズのセーターを編む』 西村知子 (監修) (小学館)
- 『江戸一新』 門井慶喜 (中央公論新社)
- 『世はすべて美しい織物』 成田名璃子 (新潮社)

児童書・絵本



『せかいいちのモンスター』 新井洋行 (ほるぷ出版)



『日本の文学 入門編』 今中陽子 (監修) (KADOKAWA)



『ものの見かたが変わる 10歳からのQ&A』 NHK「子ども科学電話相談」制作班 (共編) (NHK出版)

- 『最強！ 戦国武将決定戦』 小和田哲男 (監修) (ワン・パブリッシング)
- 『クレヨンしんちゃんの折れない心をつくる本』 臼井儀人 (キャラクター原作) 双葉社
- 『勇気を出して、はじめの一步』 本田有明 (小峰書店)
- 『わたしがあんであげる』 せなけいこ (金の星社)
- 『コールテンくんのポケット』 ドン・フリーマン (好学社)

■中央図書館カレンダー■

※市内の新型コロナウイルスの感染状況によって、おはなし会などのイベントは中止になる場合があります

2月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28				

3月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

【開館時間】 火～金曜9時～19時 土・日、祝日9時～17時

- は休館日
- ◇ しあわせおはなし会 10:30～
- おはなし会 14:00～
- 古文書学習会 14:00～
- △ みずのわ読書会 10:00～

問合せ先 天草市立中央図書館
TEL: (0969) 23-7001

令和5年度の雑誌スポンサーを募集します

雑誌スポンサー制度は、図書館に設置する雑誌に広告掲載料をお支払いいただくと、スポンサーになった雑誌の最新号にお店の広告を提示して宣伝できる制度です。

【対象】企業・商店・団体など

【スポンサー料】雑誌の購入代金相当額（例）月刊誌 500円×12ヵ月＝6,000円

雑誌の透明カバーに企業名（表紙）・企業宣伝（裏面）を掲載し、各スポンサーには、「図書館応援企業認定証」を交付します

【申込】図書館備え付けの申込書（図書館ホームページにも掲載）と、広告チラシ図案や会社概要を添えて、各図書館へお申込みください（※雑誌は図書館の購入リストからお選びください。締切日3月31日（金））

【問合せ】各図書館のカウンターまたは電話にて



詳細はこちら



ライブラリー講座 ちょっといい『お金』のはなし

1月21日（土）、小学生と保護者を対象に開催。

講師の橋野君佳さん（県・金融広報アドバイザー）から

現在流通しているお金の種類や「家のお金は

どこからくるのか」などを聴き、参加

した小学生からは、「お金で買えない

ものもあることが分か

った」「お金は大事だ

と思った」など感想が

よせられました。



▲貯金箱も作りました



▲1億円は約10kg！



★まちはみんなの遊園地 in 銀天街に
移動図書館車に参加します
【日時】2月19日（日）10～16時
【場所】銀天街アーケード内

★ゆめの絆8わらびがみ様より
寄贈本をいただきました
子ども支援活動グループの「ゆめの絆8わらびがみ（童神）」様より、クリスマスに本をご寄贈いただきました。子育てコーナー前のワゴンに展示し、貸出しています。どうぞご利用ください。



第168回芥川賞・直木賞決定！

芥川賞 🏆 井戸川射子 『この世の喜びよ』（講談社） 🏆 佐藤厚志 『荒地の家族』（新潮社）

直木賞 🏆 小川哲 『地図と拳』（集英社） 🏆 千早茜 『しろがねの葉』（新潮社）

※特設コーナー設置中（特設5）です。貸出中の本は予約できます。

第44回熊日出版文化賞の候補作決定！

『アルメイダ神父とその時代』 玉木譲

『天草の民俗信仰』 大田黒司

『アイラヴ漱石先生』

『生き直す 免田栄という軌跡』

『がんを呑み込んだ男』

『熊本地震の痕跡からの学び』

『検証・免田事件[資料集]』

『子どもたちに民主主義を教えよう』

『再検証 小西行長 第五集』

※選考会は2月22日（水）に開かれます

『どうぶつたちもこわかった』

『徳富蘆花』

『俳壇坂本の会』

『バラになったのぞみ』

『〈水俣病〉事件の発生・拡大は防止できた』

『水俣病と医学の責任』

『森國久と草の根民主主義』

『流行歌手横田良一と『天草小唄』』 平野有益

『ロシアのなかのソ連』

「紙コプターとんだ～！うさぎジャンプしたよ～」

2月12日の読書イベント、絵本作家きむらゆういちさんの講演会では簡単な工作もあり、子どもたちの歓声が会場のあちこちで聞こえ、とても楽しい時間でした。コロナはなかなか収束しませんが、行動制限がないためこれから少しずつ日常が戻ってくるのを楽しみにしたいと思います。

昨年2月のロシアによるウクライナ侵攻からまもなく1年が経ちます。200年以上前にドイツの哲学者カントは『永年平和のために』という本を書いています。「いかにすれば地球上から戦争をなくすことができるか。71歳の哲学者がやむにやまれずペンをとった。」と、翻訳者池内紀さんが解説の中で書かれています。誰（国王や政治家）にでもわかりやすいように薄い冊子として出版されたものを池内さんはより読みやすい現代語訳にされました。ぜひ読んでいただきたいです。

最近毎日流れる特殊詐欺のニュースに、先日読んだ『金環日蝕』を思い出しました。特殊詐欺を軸に社会問題を絡めたこの小説は、舞台が今回の事件と同じ札幌でしたので、なんだかドキッとしました。物語は、知人の老女がひたぐりに逢う瞬間を目にした女子大生と男子高校生が取り逃がした犯人を捜す探偵小説のような書き出しでしたが、事件を探るなかで、軽い気持ちで始めたバイトが気づいた時には詐欺の世界の片棒を担いでいたという学生の話など、一歩間違えば誰でもその世界に入り込んでしまいそうな危うい現実を、二転三転するストーリーで一気に読ませてくれました。おすすめです。

ちなみにカントも哲学者になる前は司書をしていたそうです。お探しの本が見つからない時は、図書館職員にお気軽にお尋ねください。未来のカントがいるかもしれません。
【文・中央図書館長】

